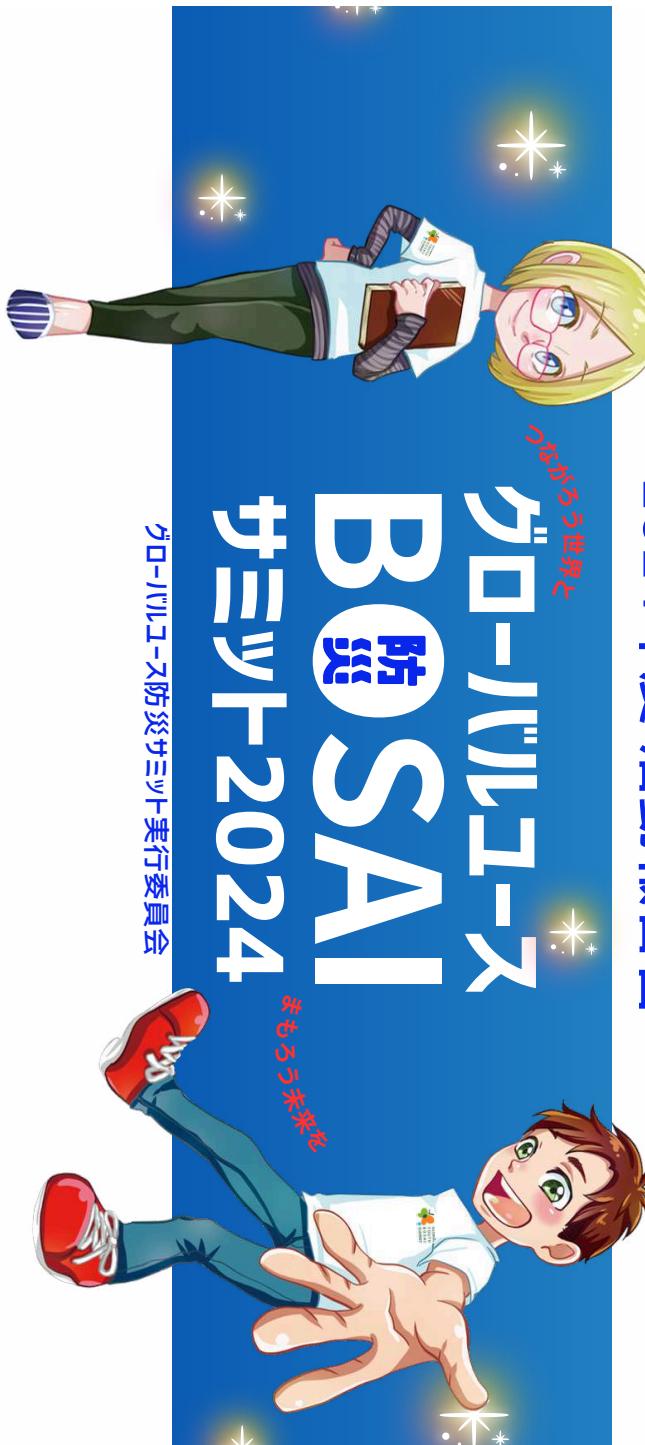


2024年度 活動報告書



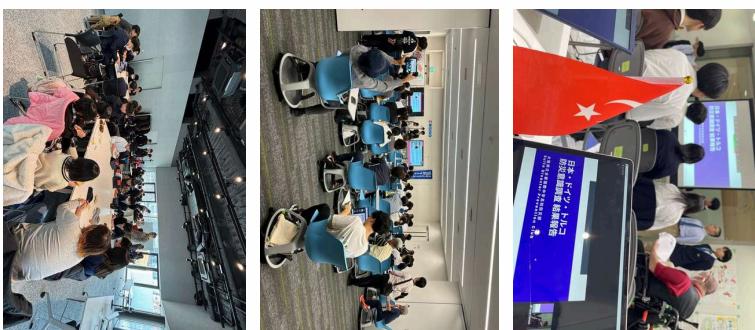
グローバルユース BOSAI サミット2024

グローバルユース防災サミット実行委員会

グローバルユース防災サミット2024



- ▼ 次代を担うユースが**防災**を手段に、災害に強い大阪の実現をめざす社会貢献活動。
- ▼ 大阪の災害の歴史と教訓を学び、防災の専門家やプロフェッショナルとの対話と協働を通じて、大阪の防災力をボトムアップ式に向上させる。
- ▼ 地元で開催される**万博**の場を活用し、日本・世界のゲストと共に、災害に強い未来社会の実現の礎となる**グローバルな共助**の関係を築く。



2024年度活動実績



総活動数57件、のべ64日（うち3件は台風による警報発令のため中止）
ユース1,327名、一般585名、合計1,912名 + 従業者154名

（1）大阪に根ざした防災学習会

大阪の災害の歴史や防災の現状を学ぶスタディツアーや、
活動数12件、のべ15日 *うち2件は台風による警報発令のため中止
ユース243名、一般82名、合計325名 + 従業者74名

（2）地域に届ける防災活動

防災学習で身につけた知識を活かした地域防災活動。
活動数9件、のべ15日 *うち2件は台風による警報発令のため中止
ユース479、一般398、合計877名 + 従業者59名

（3）留学生・外国人との交流、防災学習

多文化や多様性の視点による自助共助の促進。
活動数2件、のべ2日
ユース113名、一般143名、合計256名 + 従業者8名

事業内容 2024.4.1-2025.3.31



（4）活動成果の発信、市民への還元

グローバルユース防災サミット、次世代BOSAIフォーラムの開催。

活動数7件、のべ5日
ユース128名、一般107名、合計235名 + 従業者18名
ほかに、国内外の被災地支援活動（能登半島、マウイ島ラハイナ、トルコ）とATCグリーンエコプラザでの活動パネル
常設展示

（5）新たな共創を生み出すチャレンジ

防災ポスター・コンテストや防災ビジネスプランコンテストへの応募。

活動数3件、のべ3日
ユース9名、一般0名、合計9名 + 従業者2名

（6）メンバーや間の連帯・連携を促すコミュニティ運営

ユース主体の持続発展可能な組織づくり

活動数24件、のべ24日
ユース228名、一般34、合計262名 + 従業者45名

(1) 大阪に根ざした防災学習会

大阪の災害の歴史や防災の現状を学ぶスタイルアフ。

活動数12件、のべ15日 *うち1件は台風による警報発令のため中止
ユース243名、一般82名、合計325名 + 従業者74名

- ① 大阪市水上消防署（港区）
6/1(土) ユース35名、一般22名、合計57名 + 従業者12名
- ② 大阪市消防局指令情報センター（西区）
7/7(日) ユース38名、一般35名、合計73名 + 従業者5名
- ③ グラングリーン大阪先行見学＆防災学習（北区）
7/28(日) ユース41名、一般4名、合計45名 + 従業者6名
- ④ 大阪市住之江抽水所（住之江区）
7/30(火) ユース31名、一般4名、合計35名 + 従業者6名
- ⑤ グラングリーン大阪先行見学＆トルコ学生との防災探究（北区）
8/31(土) *台風による警報発令のため中止
- ⑥ 能登半島地震被災地での災害ボランティア体験（石川県輪島市）
9/13(金)-15(日) ユース18名、合計18名 + 従業者3名

(1) 大阪に根ざした防災学習会（つづき）

- ⑦ ぼうさいこくたい2024での防災学習・ユース交流（熊本県熊本市）
10/19(土)、20(日)、ユース10名、合計10名 + 従業者4名
- ⑧ 阪神・淡路大震災30年、語り部のお話と意見交換
(兵庫県神戸市東遊園地) *J:COM震災特別番組出演
1/6(月)10時-12時、ユース11名、一般2名、合計13名 + 従業者7名
- ⑨ グローバル防災学習会（アジア防災センター）
2/9(日)10時30分-12時、ユース16名、一般1名、合計17名 + 従業者9名
- ⑩ 阪神・淡路大震災30年特別防災学習会（人と防災未来センター）
2/9(日)13時-15時、ユース16名、一般1名、合計17名 + 従業者9名
- ⑪ 「防災世界地図」ワークショップ（市立デザイン教育研究所）
3/8(土)13時30分-15時、ユース15名、一般3名、合計18名 + 従業者7名
- ⑫ 自然災害伝承碑から学ぶ「大阪の災害の歴史と防災」（西区、浪速区）
3/9(日)13時30分-15時、ユース12名、一般2名、合計14名 + 従業者6名



(2) 地域に届ける防災活動

防災学習で身につけた知識を活かした地域防災活動。

活動数9件、のべ15日 *うち2件は台風による警報発令のため中止
ユース479、一般398、合計877名+従業者59名

①自然災害伝承碑における大阪の災害の歴史解説（西区、浪速区）
*読売新聞わいば俱楽部との共催

4/14(日) ユース6名、一般56、合計62名+従業者8名

②ATCグリーンエコプラザ GW防災講座＆ワークショップ（住之江区）
4/27(土)、28(日) ユース94名、一般106、合計200名+従業者4名

③聴覚障害のある子どもたちとの合同防災学習（東成区）
5/19(日)、6/23(日)、8/24(土)、2/8(日)

ユース4名、一般43、合計47名+従業者16名

④小学校いきいき教室への出前講座（鶴見区）

8/1(木)、5(月)、19(月)

ユース190名、一般19、合計209名+従業者10名



(2) 地域に届ける防災活動

⑤ATCコワールドフェス防災出前講座＆ワークショップ（住之江区）

8/1(日) ユース92名、一般49名、合計141名+従業者4名

⑥咲洲こどもEXPO防災講座＆ワークショップ（住之江区）
10/26(土) ユース46名、一般41、合計87名+従業者4名

⑦地域活動協議会主催の地域イベントでの出前講座（東淀川区）
11/2(土) *気象警報発令のため中止

⑧ててりあフェス（北区のコミュニティ主催の地域イベント）（北区）
12/8(日) ユース33名、一般56、合計89名+従業者8名

⑨ぐりぐりマルシェ@中船場での防災出前講座（中央区）
1/11(日) ユース15、一般28、合計43名+従業者5名



(3) 留学生・外国ルーツの子との交流、防災学習

多文化や多様性の視点による自助共助の促進。



活動数2件、のべ2日
ユース113名、一般143名、合計256名+従業者8名

①大阪経済大学こどもイベントでの防災出前講座（東淀川区）

11/24(日) ユース40名、一般92名、合計132名+従事者4名

②にしなり隣保館こどもイベントでの防災出前講座（西成区）

11/30(土) ユース73名、一般51、合計124名+従事者4名

(4) 活動成果の発信、市民への還元

活動数7件、のべ5日

ユース128名、一般107名、合計235名+従業者18名
ほかに、国内外の被災地支援活動（能登半島、マウイ島ラハイナ、トルコ）

- ①トルコ学生及び土日基金メンバー歓迎・交流会
8/31(土) *中止
- ②グローバルユース防災サミット2024
9/1(日) *中止
- ③トルコ学生及び土日基金メンバーとの交流会
9/6(金) ユース17名、一般11名、合計28名+従事者2名
- ④グローバルユース防災サミット2024
10/26(土) ユース54名、一般29名、合計83名+従事者2名
- ⑤次世代BOSAIフォーラム2025
2/2(日) ユース49名、一般20名、合計69名+従事者2名
- ⑥被災地支援募金（通年）
- ⑦ATCグリーンエコプラザでの活動展示（通年）



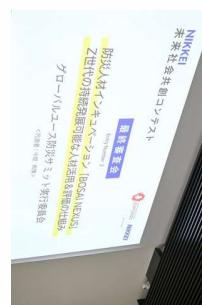
(5)新たな共創を生み出すチャレンジ

活動数3件、のべ3日
ユース9名、一般0名、合計9名+従業者2名

①防災ポスター・コンテスト（主催：文部科学省）
防災に携わるユースが初めて経験した被災地（石川県輪島市）で見た、聞いた、
感じたことをポスターにまとめ1点を出品。
ユース1名、合計1名+従業者1名

②NIKKEI未来社会共創コンテスト（主催：日本経済新聞社）
Z世代の感性と発想で取り組む持続可能な社会実現の企画コンテストに応募。
78件から当会を含む12件が2025年2月15日に大阪市内で開催された最終審査に
出場。ファイナリストに選出。
ユース2名、合計2名

③日経SDGsフェス（主催：日本経済新聞社）
日経万博室が学生との共創を目指し取り組む諸活動に関するガイドラインと協賛企業
各社との交流会に参加。
ユース6名、合計6名



(6)メンバー間の連帯・連携を促すコミュニティ運営 ユース主体の持続発展可能な組織づくり

活動数24件、のべ24日
ユース28名、一般34、合計262名+従業者45名

①定例会

地域や学校を超えてユース同士が互いの関係性を深め、新たな連帯、連携を生むオンライン
コミュニティとして機能。日程調整や進行、議事録作成も輪番で担当するなど、自立、自走
に向けて着実に成長した。年間24回開催。
ユース28名、一般34、合計262名+従業者45名

*一般からの参加者は大学や高校教員、ボランティア活動団体・個人など

広報実績 公式サイト、SNS (Facebook、Instagram)



広報実績 公式サイト、SNS (Facebook、Instagram)



振り返り



- ①土日や夏休みに開講
- ②特別な場所に入れる
- ③高校生が運営をリード
- ④事務局／ユースの役割分担
- ⑤防災以外からの参加増



振り返り



- ①学校や地域の枠を超えて「防災」でつながるユースの連携、共創が見られた。
- ②防災学習会やサミットが「障害のある子とその家族が「防災の発信者」としてのスキルを高める機会となつた。
- ③海外における防災活動事例を多数知ることで、多様性理解の視点から防災の重要性を理解することができた。
- ④実行委員会のメンバーが自主的・自発的に新たな防災ユニット(スピノフユニット：派生ユニット)を結成、活動を開始した。「OSAKANOTO MODACHI」、「team.カラソコエ」



グローバルユース防災サミット2024の開催及び大阪・関西を拠点とするユースによる防災活動

【主催】グローバルユース防災サミット実行委員会

【共催】JICAトルコ事務所、土日基金、特定非営利活動法人レジリエンス教育研究所

【後援】大阪市、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、

大阪公立大学都市科学・防災研究センター、駐日トルコ大使館、駐トルコ日本大使館

【助成】大阪市（市民活動推進助成事業）

日本ユースコ協会連盟（能登半島ボランティア活動助成）*順不同

公益財団法人三菱UFJ国際財団（マウイ島ラハイナにおける山火事被災地の復興調査）

私たちちは多様な社会の担い手と共に、大阪・関西万博TEAM EXPO2025共創チャレンジの一員として、万博の場で様々な共創を生み出す活動を行っています。

【共創パートナー】アジア太平洋トレーディングセンター株式会社、株式会社F.C.大阪、環境省近畿地方環境事務所、学校法人エール学園、日本経済新聞社

【共創メンバー】田中手帳株式会社、特定非営利活動法人レジリエンス教育研究所、タイ市防災株式会社、株式会社ジェイコムウェスト、大阪医療科大学高槻中学校高等学校、ママコミュニドットコム
Team B7 Summit OSAKA